

五里地区小中一貫教育学校

【第7号】

建設準備委員会だより



このたよりは、五里地区の小中一貫校の開校に向けた準備の情報をお届けするものです。今号では、第7回建設準備委員会の様子をお送りします。

第7回建設準備委員会を開催

9月29日(木)に第7回建設準備委員会を開催しました。今回の委員会では、以下のことについて協議を行いました。

【議事内容】

- (1) 「小美玉市小中一貫教育基本方針」について
- (2) 「玉里地区小中連携・小小連携推進委員会」について
- (3) (仮称) 玉里地区小中一貫校基本構想について



小美玉市小中一貫教育基本方針について

五里地区の小中一貫校だけでなく、市全体の小中一貫教育に関する考え方、小美玉市小中一貫教育基本方針（平成28年6月策定）が示され、確認しました。概要は以下のとおりです。

○小美玉市小中一貫教育の基本的な考え方（抜粋）

市内全小中学校で小中一貫教育を推進する。ただし、各中学校区の実態に応じて、段階的に移行するものとする。

一体型小中一貫教育（玉里小・玉里北小・玉里東小・玉里中 統合小中学校）



統合小中学校

- ・義務教育学校としての開校を目指す。
- ・小1から中3までの児童生徒が同じ校舎でともに学校生活を送る。
- ・小中で統一した学校教育目標や重点目標を設定する。
- ・義務教育9年間を通じた教育課程を編成する。（学年3区分制等）
- ・小中教員乗り入れによる段階的な教科担任制を導入する。

想定される小中一貫教育

○モデル校を核とした小中一貫教育の推進（抜粋）

小美玉市立小中学校規模配置適正化実施計画（平成27年2月）による、統合小学校及び統合小中学校の開校予定年度は、次の通りである。

【平成31年度】小川小・橘小統合小学校

【平成33年度】玉里小・玉里北小・玉里東小・玉里中統合小中学校

【平成35年度】野田小・上吉影小・下吉影小統合小学校

スケジュールを鑑み、それぞれの開校時には、想定される小美玉市小中一貫教育を完全実施できるよう、段階的に準備を進めていく。そのために、次の学校をモデル校に指定して、重点的に先行研究や実践を積み重ねていく。

(2) 一体型モデル校 【玉里小・玉里北小・玉里東小・玉里中 統合小中学校】

□主な研究・実践内容例

- ・9年間を通した学校教育目標、重点目標の設定
- ・9年間を通した教育課程
- ・9年間を通した学校生活や学習のスクールスタンダード策定
- ・一体型小中一貫校における学校施設設備の効果的な活用方法
- ・一体型小中一貫校における効果的な教員配置や教員研修

(9年間を通した教育課程例)

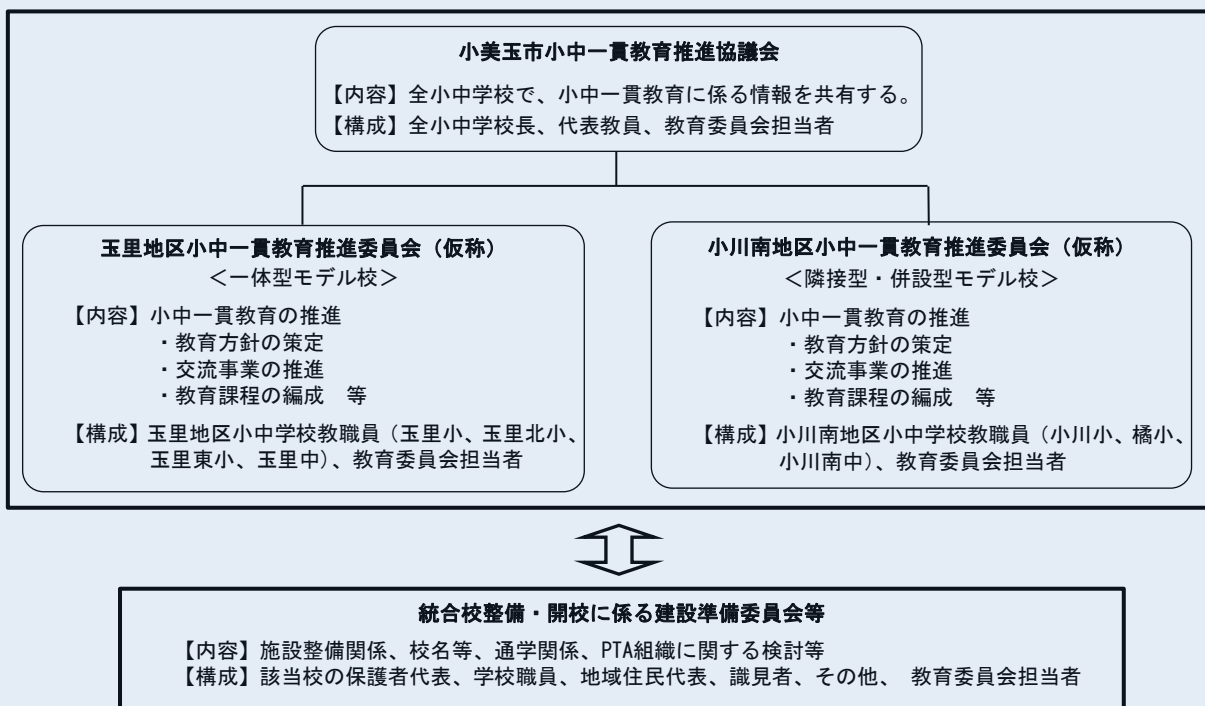
前期 (4年間)				中期 (3年間)			後期 (2年間)	
小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
・基本的な学習習慣や生活習慣の定着 ・基礎・基本の習得 ・活用力の育成				・自主的な学習態度や生活態度の育成 ・基礎・基本の習熟 ・活用力の伸長 ・小中の円滑な接続			・自主・自立の態度の確立 ・社会へつながる協働力の育成 ・進路目標の実現	
学級担任制 (一部教科担任制)						教科担任制		

モデル校の研究成果を、市内各小中学校で共有することにより、それぞれの学校の形態や実態に合わせて、市内全小中学校で小中一貫教育を推進するものとする。

○小中一貫教育推進のための組織（抜粋）

本基本方針に沿って、小美玉市における小中一貫教育及び施設整備を推進するために、以下の組織を置く。

(学校教職員による組織)



(学校関係者、地域住民による組織)

玉里地区小中連携・小小連携推進委員会について

玉里地区の小中学校教職員によって構成され、玉里地区の小中一貫校の教育内容等を協議している玉里地区小中連携・小小連携推進委員会から、校長部会において現在作成中のグランドデザイン[※]や進捗について報告がありました。今後は更に協議を深め、具現化されていきます。概要は、以下の通りです。

○玉里地区義務教育学校＜仮称＞グランドデザイン（原案）から一部抜粋

＜新設校の建設に当たって＞

「未来の教育の展望は、この玉里地区に新しく建設される学校にある。」これは、地域の人々や教職員、保護者の思いや願いを受けている。学校は、地域によって成り立ち、地域の子どものためにある。そこで学ぶ児童生徒が「真剣な瞳と輝く笑顔」をもって学校生活を送り、成長していくことにより、やがては地域や社会のために貢献していく。そんな「主体性、創造性、感性」のある児童生徒に育てていきたい。また、地域のよさ（教育力）を生かした創意工夫ある取組により、「地域に根ざした魅力あふれる義務教育学校」をつくっていきたい。

※グランドデザイン：学校経営、学校運営の構想図。

○今後の玉里地区小中連携・小小連携推進委員会の取り組み

全体のプロジェクト会議の他に随時、校長部会や教頭部会、教務主任部会など、各部会で会議を持ち、具体的な話し合いを行う。

H27・H28の話し合いから、内容の具現化を図ること		H26 ←共通理解→	H27	H28	H29 ←検討→	H30	H31 ←試行→	H32	H33 実施
推進委員会	学校経営	・学校経営（グランドデザイン、経営方針、組織目標） ・管理運営（人的・物的・教育運営） ・閉校式、移転計画 【校長部会】	四校の教職員の交流、互いの取組状況の把握		各校が実施しているものの中で効果ありそうなものをやってみる 共通的な指導・取組の検討			共通的な指導、共通的な取組を試行し、修正を加える	
	学校運営	・学校運営（組織体制、人材育成） ・地域や関係機関との連携 【教頭部会】 ・設備・備品・予算・文書 【事務職員部会】							
	教育課程	・行事・交流活動（校内・校外行事、校内・地域交流活動） ・日課・週時程 ・研修・研究 【教務主任部会】							
豊かな心	生徒指導	・「生活のきまり」の原案づくり ・ソーシャルスキルトレーニング 【生徒指導主事会】							
	道徳	・体験活動の洗い出し（自然体験・福祉体験） ・わたしたちの道徳・副読本について 【道徳主任会】 ・道徳ノート							
	特別活動	・児童生徒会活動、学校行事の充実について 【特別活動主任】							
確かな学力	授業改善	・「主体的・協働的な深い学び」の創造 【研究主任部会】							
	連携	・合同校外学習 ・小中連携 ・小小連携 【教務主任部会】							
	かかわり	・教科担任制導入 ・授業相互参観 カリキュラムの連携 【教務主任部会】							
	その他	・特別支援教育の推進（個別の支援計画、合同学習） 【特別支援教育コーディネーター部会】							
健やかな体	体育	・部活動体験（小6体験） ・陸上・球技の指導（年間計画の確認） 【体育主任部会】							
	保健	・系統的な保健指導 ・保護者啓発の在り方（早寝・早起き・朝ごはん） ・病気やケガの対応 【養護教諭部会】							
	安全	・避難訓練の合同実施（引き渡し） ・安全対策（玉里地区危険箇所の確認<交通・水難>） 【保健主事部会】							

（仮称）玉里地区小中一貫校基本構想について

基本構想とはどういったものか、今後の協議内容やスケジュールについての案が示されました。また、基本構想を作成する参考にするためのアンケートについての協議を行ないました。概要は以下のとおりです。

○基本構想とは

基本構想（平成28年度）

学校の設計・工事を進める上で根幹となるものです。教育的観点、利便性・機能性・環境への配慮等の視点から、小美玉市小中一貫教育基本方針を踏まえて、必要な機能、施設及び手法を示す整備方針、建設場所、施設の規模及び周辺施設整備に関する考え方を示す施設計画、スケジュール及び概算事業費を定めます。

開校（平成33年4月）

建設工事（平成31～32年度）

基本設計（平成29年度）

基本構想で提示された事項を整理したうえで、建物の構造や配置、各階の基本的なレイアウト、機能や設備、内外のデザイン等を基本設計図書としてまとめます。

実施設計（平成30年度）

基本設計図書に基づき、安全安心な工事施工を考慮した上で、機能性、デザイン性及び技術面等多方面にわたって詳細な設計を進めます。

○基本構想の進め方について

（仮）目次	建設準備委員会での協議内容及びスケジュール案
I 背景	【10月】背景（案）について
II 小中一貫教育の計画	【10月】小中一貫教育の計画（案）について 小美玉市小中一貫教育基本方針、玉里地区小中連携・小小連携推進委員会の協議結果に基づいた案
III 基本構想 施設整備方針 配置構成計画 平面構成計画	【10月】アンケート実施結果について 建設予定地の現状及び学校に求められる基本的事項等 （例：日当たりを考慮し、普通教室を南面させる等）
	【11月】施設整備方針（案）について 配置構成計画（案）について …「計画敷地、建物の配置案、建替え計画等」 平面構成計画（素案）について…「建物のゾーニング※等」
	【12月】施設整備方針（案）について ※ゾーニング：空間を機能や用途別にまとめて、位置関係を決定すること。 平面構成計画（案）について
V 工事費概算	【2月】工事費概算、スケジュール、今後の検討事項（案）について
VI スケジュール	
VII 今後の検討課題	

○新しい学校づくりのためのアンケート

アンケートの対象者や設問等について協議を行いました。アンケートの対象者を幼稚園・保育園の保護者、小学3・4年生までに広げるなど、以下のように決定しました。

調査対象：①保護者（玉里地区小中学校、幼稚園・保育園）
 ②玉里地区小中学校の教職員
 ③児童生徒（小学3～6年生、中学生）
 調査期間：10月上旬
 実施方法：各学校・幼稚園・保育園で配布・回収
 調査結果：次回の玉里地区小中一貫教育学校建設準備委員会にて協議
 主な設問：問 玉里地区らしい学校をイメージするキーワードはどのようなものですか。
 問 新しい学校施設にあった方が良いと思うものはどのようなものですか。



主な意見や質疑

○小美玉市小中一貫教育基本方針について

委員 小中一貫教育推進のための組織と玉里地区小中一貫教育学校建設準備委員会の位置付けはどのようになっているのか。
 ⇒（事務局）玉里地区小中連携推進委員会が玉里地区小中一貫教育推進委員会（仮称）と重なり、玉里地区小中一貫教育学校建設準備委員会は、統合校整備・開校に係る建設準備委員会等（学校関係者、地域住民等による組織）として位置付けられている。それらに関連付けながら、小美玉市小中一貫教育推進協議会において小中一貫教育の情報を交換しながら、全体で共通理解の下、進めていく。

○（仮称）玉里地区小中一貫校基本構想について

委員 「こんな学校に子どもを入れたい」という想いを幼稚園等の保護者は持っているのではないかと思う。幼稚園、保育園の保護者にも可能な限り、アンケートを実施すると良いのではないと思う。



委員 現在の小学5、6年生にアンケートを実施することも意味のあることかと思うが、開校時の平成33年度には高校1、2年生になる。小学3、4年生にもアンケートを実施し、子ども達なりの考え方を反映させても良いのではないか。

委員 小学5、6年生は平成33年度には卒業してしまっているが、現状については十分に意見をくみ取ることができると思う。



委員 小学3、4年生にアンケートを実施した場合、自分達がこれから学ぶ学校をつくっていく一端を担うという意識が出てくると思う。参加しているという意識が出てくるのではないか。

委員 子ども達にとって、自分達の意見が反映されていることが分ると、中学2、3年生になった際に自分達も携わってきたという気持ちが生じると思う。そういった機会があると子ども達には良いのではないか。



事務局 これから学校を作っていく過程においては、アンケートだけではなく、名称の募集に関わるなど、子ども達の学校づくりに対する多くの参加機会を設けることができる。委員には、そのアイデアを数多くいただければと思うのでよろしくお願ひしたい。

※議事録は、市のホームページ（以下のURL）で公開しています。
<http://city.omitama.lg.jp/8106.html>



発行：玉里地区小中一貫教育学校建設準備委員会

（事務局）小美玉市教育委員会
 施設整備課 学校づくり推進係
 〒311-3423 小美玉市小川4-11
 電話 0299-48-1111（内線2212・2216・2217）
 Eメール shisetsu@city.omitama.lg.jp

次回の建設準備委員会は、日程が決定次第、市のホームページでお知らせします。委員会は自由に傍聴できますので、詳細は事務局までお問い合わせください。